

IoT時代のターンキー エッジコンピューティング
 ゼロタッチで省スペース、パワフルで高可用性
 「止まらない安心」をクリティカルな業務システムに



Stratus | ztC Edge



Stratus | ztC Edge

ゼロタッチ運用の「止まらない」仮想化サーバー

Stratus ztC Edge

Stratus ztC Edge は、ITの知識がなくても運用でき、ハードが故障してもシステムを止めることなく業務を継続できる、無停止型機能を提供します。
 ゼロタッチ運用で高可用性、しかも省スペース・コンパクト設計ながら性能はパワフル。
 IT技術者の限られた現場、遠隔地や故障しても直ぐに保守に行けない現場、専用マシン室のない現場など、どんなオフィス環境でも簡単に運用でき、高い信頼性を発揮します。
 10年の保守期間にも対応、長期に安定してご利用いただくことができます。

Stratus ztC Edge はここがすごい！

高可用性、仮想化OSがビルトイン

故障交換はプラグイン

どこでも設置可能、マシンルーム不要

ゼロタッチ IT知識不要

業務を止めない二重化構成

10年の長期保守に対応

冗長化・高可用性

故障しても
業務は止まらない

データを
欠損なく収集可能

365 Days
Operation!

厳重な
バックアップ
システム

耐環境性

堅牢なボディ!

高温、寒冷地、
空調が無くても、
埃や振動にも強い

縦置き横置き、
壁掛けもO.K.

ゼロタッチ

IT管理者の
いない現場でも

不便な現場
でも安心!

自己モニタリング
&リモートモニタリング!!

エッジ コンピューティング

身近に設置して
最大限データを活用!!

リアルタイム処理、
自動化処理には、
クラウドは無理...

データが大量で
クラウドに上げきれない!
セキュリティや
コストも不安

こんなところにStratus ztC Edge

ztC Edge はどこにでも簡単導入、ゼロタッチ、現場の働き方改革の切り札

二重化による高可用性

- ✓ プライマリ側ノードが破損した場合、セカンダリ側ノードの仮想マシンが処理を継続

仮想化技術

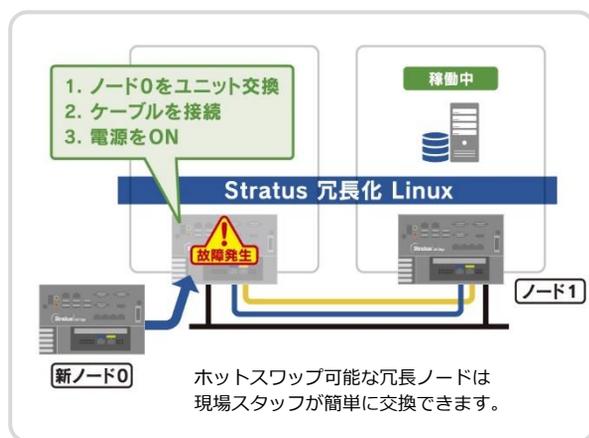
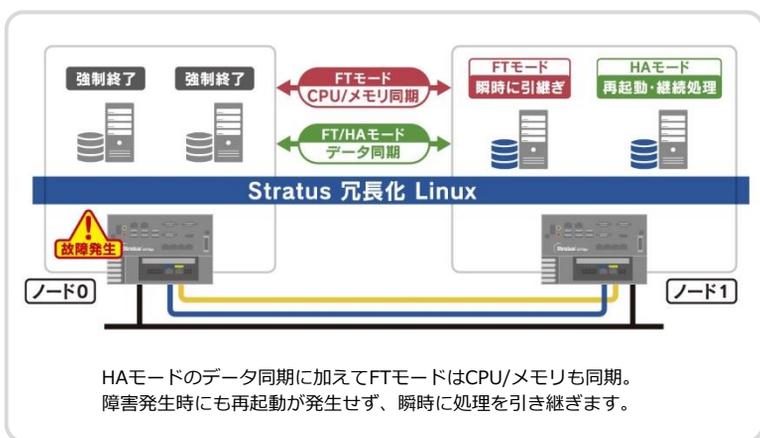
- ✓ Stratus冗長化Linuxによる、高可用性仮想化OSを装備、複数の仮想マシンを自動的に安全配置

故障交換はプラグイン

- ✓ 現場の従業員でも簡単に交換可能

手間いらずの運用

- ✓ システムを止めずに自動復旧
- ✓ 専任のIT担当者がいなくても簡単運用



Stratus ztC Edge 250i 技術仕様

OS	Stratus Redundant Linux
ゲストOS	Windows および Linux
プロセッサ	Intel Xeon W-1290TE, 1.8GHz, 20MB キャッシュ, 10HT core
システムメモリ	64GB DDR4 2666MHz (ECC)
ストレージ	2TB SSD (NVMe)
ネットワーク	2 x 10GbE (ノード間リンク用) 6 x 1GbE (ユーザーネットワーク用)
温度	摂氏 -20 ~ +60 度 (付属のACアダプタを使用する場合は 0 ~ +50 度)
湿度	10% ~ 95%, 結露がないこと
振動	10G, 11ms, 1.5Grms (5-500Hz: X, Y, Z 方向)
入力電圧	9V - 36V (DC) (付属のACアダプターの入力電圧は100 ~ 240V)
寸法	230mm x 192mm x 127mm
重量	4.6kg / 1ノードにつき
設置方法	DINレール、壁、または卓上
規格対応等	VCCI, FCC, CE, その他

価格

詳細情報

ztC Edge の詳細、およびその他ストラタステクノロジーの高可用性コンピューティングソリューションについての詳細については、下記連絡先までご連絡いただくか、www.stratus.com/jp/solutions/platforms/ztc-edge/ をご覧ください。



日本ストラタステクノロジー株式会社

〒102-0085 東京都千代田区六番町 6 勝永六番町ビル
TEL: 03-3234-5562 (事業開発部)
E-mail: ftserver.jpn@stratus.com

URL: www.stratus.com/jp/

※本資料に掲載されている情報は2021年10月現在における概要を説明するものであり、通知なく変更される場合があります。Stratus, Stratus ロゴ, ztC Edgeおよび ztC Edgeロゴは、Stratus Technologies Bermuda Ltd. の登録商標または商標です。その他本資料の文中に引用された会社名、製品名、サービス名は、各社の商標もしくは登録商標であり、各所有者が高標権を保持しています。